

特別展示

芸能衣裳の美

吉村ゆきその美意識



「葵の上」衣裳

平成28年5月14日(土)～6月12日(日)

休館日：毎週月曜日／開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入場料：一般500円(中学生以下・65才以上・障害者手帳など持参の方は無料)

協力：「芸能衣裳の美」実行委員会、小山安造氏、白山市立千代女の里俳句館、丸亀市立資料館(順不同)

企画運営：公益財団法人東大阪市文化振興協会

東大阪市民美術センター

指定管理者：公益財団法人 東大阪市文化振興協会 HP:higashiosaka-art.org

〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22 tel 072-964-1313 fax 072-964-1596

芸能衣裳の美 -吉村ゆきそのの美意識-

上方舞の吉村ゆきそのは、吉村流の代表的な舞手で、品の良い舞が特色です。彼女の衣裳に対する思いは深く、独特の美意識に裏打ちされた衣裳は、その舞をより質の高いものとしています。

芸能衣裳は着装して舞うことによってその形が完成されます。美を見つめて作成された衣裳の中には、朝倉 撰 (あさくら せつ 1922~2014 舞台美術家・画家)、辻村ジュサブロー (つじむらじゅさぶろう 1933~ 人形作家・人形操作師) の作品や、ゆかりの高僧、書家の揮毫によるものもあります。

今回、有名舞踊家の技芸師 (顔・かつら・衣裳の製作と着付までを担当) として活躍された小山 拓 (こやまひろし 1925~2002) のコレクションから衣裳・櫛・かんざしも展示いたします。これらは技芸師の仕事の研究のなかで長年にわたって収集されたものの一部です。吉村ゆきそのが多くの舞台を通して尊敬する小山 拓の美学を紹介したいとの希望から実現いたしました。芸術衣裳及び櫛・かんざしコレクションの一部は公開されたことありますが、このように多数の展示は初めてです。吉村ゆきそのの世界をどうぞお楽しみ下さい。



小山 拓と吉村ゆきその



「恩愛夢幻珠取」衣裳制作・辻村ジュサブロー



「衣通姫」衣裳制作・朝倉 撰



小山 拓コレクション



地唄「芦刈」 舞・吉村ゆきその/衣裳制作・小山 拓

吉村ゆきその Yukisono Yoshimura

高松市に生まれ。3歳から舞踊を始める。

昭和28年吉村雄輝(吉村流四世家元・人間国宝)に入門。昭和32年吉村雄輝園(ゆきその)の名を許される。その後、国内外で精力的な活動を行う。平成10年には天皇・皇后両陛下御成婚40周年御即位10周年のお祝に、両陛下・紀宮様の御前で地唄「子の日」を舞う。平成14年には東大寺大仏開眼1250年慶讃法要で「光炎迎水」を舞う。そして平成27年、NHK E テレの古典芸能番組「にっぽんの芸能」で「上方舞のころ・吉村ゆきその」が放送された。

《受賞歴》

- 昭和60年 文化庁芸術祭賞
- 平成15年 香川県文化功労者表彰
- 平成19年 地域文化功労者文部科学大臣表彰 ほか多数

□関連企画 《ギャラリートーク》

- ①平成28年5月14日(土) 午後1時~
 - ②平成28年5月21日(土) 午後1時~/午後3時~
- 講師：吉村ゆきその氏(舞踊家・上方舞吉村流)

展示を鑑賞しながら講師が説明いたします。申込は不要ですが、入場料が必要です。



指定管理者：公益財団法人 東大阪市文化振興協会

東大阪市民美術センター

〒578-0924 東大阪市吉田 6-7-22 tel 072-964-1313 fax 072-964-1596
 近鉄奈良線「東花園」駅より北へ徒歩約10分 東大阪市花園ラグビー場南側
 HP：higashiosaka-art.org